

ウェルウォーク通信

～船橋市立リハビリテーション病院様 活用紹介～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
今回は、船橋市立リハビリテーション病院様の取り組みについてご紹介致します。

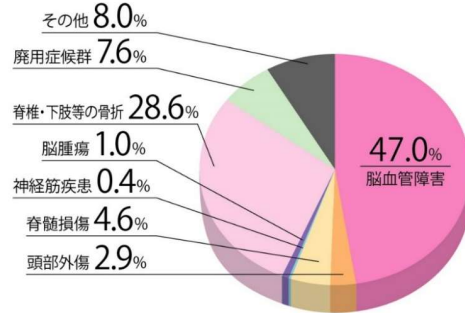
医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院

所在地：千葉県船橋市 病床数：回りハ3病棟 計180床
療法士：PT約90名

【ウェルウォークの運用状況】

導入時期：2017年11月 対象疾患：主に脳血管疾患
経験症例数：106症例（2022年1月現在）
運用スタッフ：研修済みセラピスト 14名

疾患別患者数（n = 788）



※脳血管障害は、「脳梗塞・脳出血・くも膜下出血」を含んでおります。

当院におけるウェルウォークの運用方法とその変化

【PT1人でウェルウォークでの歩行訓練が実施できる ウェルウォーク選定基準の明確化】

- ・脳卒中片麻痺患者
- ・意思疎通ができる（単語・ジェスチャーなどでも可）
- ・普通型車いすに乗車ができる
- ・手すりを持ち見守り～軽介助で立位保持ができる

【症例検討会】

- ・頻度：月に1回
- ・参加者：医師、PT部門長、ウェルウォーク係PT、担当PT
- ・内容：ウェルウォーク設定や訓練方針の検討
ウェルウォーク訓練終了時期やその後の方針の検討
- ・素材：平地歩行動画、ウェルウォーク歩行動画、
身体機能評価の推移

【対象者の選定機会の増加】

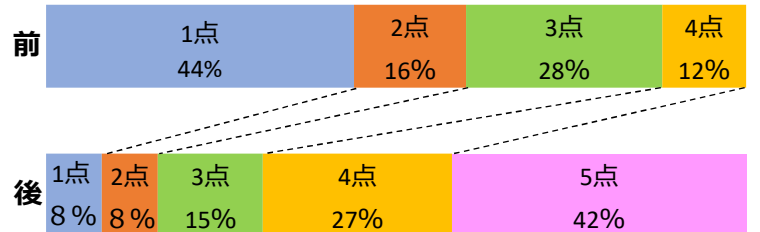
- 以下2つの場面で対象者を選定
- ・入院時合同評価（Dr、Ns、PT、OT、STなど
多職種が参加し入院時の状態を評価する場）
 - ・ブレスクリニック（下肢装具作製に関する検討会）

症例検討会後の変化

歩行訓練での目標設定や方針を明確にすることができた
監視歩行の早期獲得ができるようになった

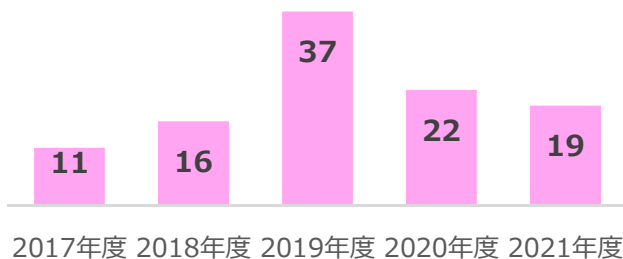
ウェルウォーク実施前後でのGait Ability Assessment(＊)の変化

n = 26 平均介入期間29.4±11.8日



＊ Development of Gait Ability Assessment for hemiplegics (GAA) and verification of inter-rater reliability and validity. K Tomida

ウェルウォーク実施件数の推移



【ウェルウォークリーダーのコメント】

当院では2017年にウェルウォークを導入してから、医師を中心に運用方法を整えてきました。その成果を一部紹介させていただきます。選定基準を明確にし、対象者の選定をふたつの場面で実施できるようにしたことで2019年度に使用患者数は大幅に増加（2020、2021年度は感染対策の為減少）しました。また症例検討会においては、医師を中心とした協議が可能となったことで、歩行訓練における目標設定や方針が明確となり、検討会後にウェルウォーク上の歩行や平地歩行で早期に監視歩行が獲得できるようになったと感じています。今後も患者さまへより良いリハビリテーションを提供出来るよう運用方法もブラッシュアップしていければと考えています。

ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.toyota.co.jp>